

# 「ESD・環境教育お悩み相談室」を実施しました。

2005年より、世界各地でESD活動がはじまっています。中国四国地方でもより活動を広めるために「ESD・環境教育円卓会議in岡山 - ESD・環境教育お悩み相談室 -」を開催しました(2007年2月24日)。行政、国連大学、ESD-JなどESDの専門家や、中国四国地方を中心に教育関係者やESD・環境教育に関心のある人たちが集まって活発に意見を交わしました。

すべての環境教育はESD

ESDは環境、経済、社会的側面を総合的に取り入れること。そして、知識を得るだけでなく、行動へうつすこと。国が進める取り組みは、普及啓発、地域における実践、高等教育機関における取り組み。各省庁と協力しながら進めていきます。



環境省の人の話

これからの環境教育の中にESDを

教育基本法が改正され、教育目標に「環境」が入りました。また、中教審から「環境教育の観点から持続可能な社会の構築が強く求められている状況をふまえること」と「学校と家庭や地域などの学校外での教育活動の役割を明確にした上で、それぞれの分担と連携を具体的に推進すること」が指摘されています。



文科省の人の話

## 日頃の疑問について、みんなで話し合いました。

### Q. ESDってどういうもの？

単なる学習ではなく、実際に地域の問題を解決することで、一人一人の意識が変わっていく活動だよ。



世界の大きな問題を身近な具体的な問題に結びつけて自分の問題として学ぶのね。



教師が一方的に教えるのではなく、教師も生徒も共に学びあうことかな。



### ポイント

ESDとは

難しく考えないでね！

5年後も50年後もより良い社会であるためにはどうすれば良いか考え、実践する。それが基本です。



### Q. 子どもたちをどう導いていけばいいの？

ある1学年ですべてを教えられないわ。小学生でわかることは小学校で、中学生になるとわかることは中学校で。ステップを踏んでいくことが大切だよ。



「理解する、納得する」(腑に落ちる)という体験が必要だね。



### ポイント

知識の前に、「思いを育てる」

身近な問題から

まず、「目的」を持つこと。そこから全てははじまります。やり方、導き方に決まりはありません。枠にとらわれず自由な発想で。



### Q. 違う立場の人がどう連携していけばいい？

学校や地域の教育活動に、親ももっと関わってほしいよね。



楽しみながら理解できる内容にするためのアイデアがほしいな。地域の知恵袋を結集する「場」を作りたいんだ。



公民館は、学校以外でESD・環境教育の拠点となりえる場所だから、もっと活用するといいわよ。



ESD・環境教育の場は学校以外の所にもある。地域で指導できる人材を市町村に紹介してもらいたいわ。



### ポイント

みんなで助け合い

まずは地元の地域から見直してみよう？

地域の素材や人材を最大限に活かしましょう。みんなの知恵が大きな力につながります。



### ESDをはじめてみませんか？

ESDを進めることで、地域や地球を元気にしていくことにつながっています。

急がず慌てず冷静に！

